



ウイスコンシンとの橋渡し

海外しょうゆ工場設立から 姉妹県州関係の実現へ

この写真は、1987年5月19日に、当時弊社の海外事業担当の常務取締役であった私が、米国ウイスコンシン州の名誉大使を仰せつかった時のものである。右は、同州知事であったトミー・トンプソン氏である。氏はおおよそ14年間知事を務めた後、ブッシュ大統領のもとで4年間、厚生長官の要職にあった。左は、シカゴ総領事であった荏田吉夫氏である。

当時の記録によると、知事は記者会見において「茂木氏が日本とわが州との間の、文化とビジネスにおける結びつきを強めることに努力し、日米両国間の関係をより密接にするために大

きく貢献した」と語ったとあるが、私にとって大変光栄なことであった。

弊社は、ウイスコンシン州南部に、1973年、戦後はじめての海外しょうゆ工場を設立し、常に、現地の良き企業市民となる



茂木 友三郎

キッコーマン
取締役会長 CEO

べく努力してきたつもりでいたが、それをお認めいただいたことはうれしかった。そして、仕事を通して、少しでも社会のお役に立てるよう更に努力しなければならないと思うと同時に、日本とウイスコンシンとの関係で、何か私にできることはないかと考えるようになった。

しばらく経った後、トンプソン知事から、千葉県と姉妹県州関係を持ちたいと思うが、手伝ってくれないかという依頼があった。荏田総領事にお話し、外務省を通しての交渉がはじまった。私は知事の親書を千葉県の沼田知事にお届けする役目を引き受けた。両県州の間で話が進み、1990年に姉妹関係が実現した。その後活発に交流が続いていることは喜ばしい。

ところで、弊社の現地におけるしょうゆ工場は比較的順調に推移し、全体の利益に貢献できるまでに成長した。

私の思い出写真館